

文化財に対する理解と愛着心を育む  
第27回ぎのわんの文化財図画作品展  
**表彰式**

10月6日、市内在住の小・中学生が文化財を描いた「第27回ぎのわんの文化財図画作品展」の表彰式が市立博物館で行われました。この図画作品展は、次世代を担う児童・生徒の皆さんに、市内の文化財を題材に描いてもらうことで、豊かな表現力を養うとともに、文化財保護の精神を培い、地域への愛着心を育むことを目的に毎年開催されています。

各部門の教育長賞から銅賞を受賞した大勢の児童生徒が参加し、知念教育長より表彰状を受け取りました。応募いただいた193点の作品は、市立博物館企画展示室で展示されました。



**教育長賞受賞作品**



中学生の部  
「森の川」  
土屋 結さん(普天間中学校)



小学校高学年(5・6年)の部  
「普天満宮洞穴」  
折田 悠世さん  
(はごろも小学校)



小学校中学年(3・4年)の部  
「普天満宮」  
宮城 百音さん(志真志小学校)

**留学記  
ニイハオ!**

中国廈門市

その1

第17期 海外留学生  
知念 佳奈



留学の動機としては、中国人観光客が多く訪れ、日常生活に中国語がしばしば耳に入る沖縄で生活している中、相手の言葉を理解できたらどんなに意思疎通がしやすいだろう、偏見を持たずに相手と接することができるとは思いません。

私は現在、琉球大学の2年次です。学校を1年間休学し中国語は、ほぼゼロの状態です。9月から廈門理工學院で語学を学んでいます。

宜野湾市民の皆さん、こんにちは。私は第17代目として1年間、中国の廈門へ留学をさせて頂いており、知念佳奈と申します。



▲観光地で有名な中山路の様子



▲廈門理工學院近くのお寺



▲学内にある日本庭園



▲日本語学科のみんなと一緒にご飯(右から2人目が知念さん)

これから市報ぎのわんを通して私の留学生活をご紹介します。私の文章を通して、廈門での生活を想像していただくと嬉しいです。よろしくお願いたします。

また、留学を通して親元を離れることで、自立心を養い、ここでしか作れない人脈を広げるというのも達成したい目標です。  
今はまだ廈門に来たばかりで不安なことばかりですが、家族や友人、先代の留学経験者の方々にすぐく助けていただいております。